

平成29年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実施報告書

HT29303 プログラム名 ロボット技術から学ぶ人間の不思議～人の感覚を探る～



開催日：平成29年7月30日(日)

実施機関：九州工業大学

(実施場所) (情報工学部飯塚キャンパス)

実施代表者：林 英治

(所属・職名) (大学院情報工学研究院 機械情報工  
学研究系 教授)

受講生：高校生13名

関連URL：<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/>

【実施内容】

○留意、工夫した点

- ・高校生の目線に合わせてるように、ロボット技術の取り巻く期待と実際を比較して研究説明を行った。
- ・実習では、TAとともに実際にロボットを前にして、説明と実演を交えて議論を行った。

○当日のスケジュール

- 09:11-09:30, 09:45-10:04 バスによる移動(飯塚バスセンター～JR 新飯塚駅～情報工学部)  
10:00-10:30 受付(インタラクティブ学習棟(MILAiS)集合)  
10:30-11:00 開講式(あいさつ, 大学紹介, オリエンテーション, 科研費の説明)  
11:00-12:00 講義&実習「人間の感覚とロボット(講師:林英治)」  
12:00-13:00 昼食  
13:00-14:30 実習「エモーショナル・システム「Conbe-I」「SOMA」「Haptic」による感覚実験」  
14:30-15:00 休憩およびフリーディスカッション(ティータイム(お菓子, 飲料))  
15:00-15:30 講義「未来のロボットに向けての感覚の実現方法(講師:林英治)」  
15:30-16:00 修了式(アンケート記入, 未来博士号の授与)  
16:00 終了・解散  
16:10-16:24 バスによる移動(情報工学部～飯塚バスセンター～JR 新飯塚駅)

○実施の様子

- ・参加高校生は、しっかりとした会話をしており、好奇心に溢れた目とともに、TA や生徒たちと非常に闊達に話をしていたのが印象に残る。



エモーショナル・システムによる感覚実験①



エモーショナル・システムによる感覚実験②

○事務局との協力体制

- ・事務局会計課が委託費の管理と支出報告書の確認を行った。
- ・事務局研究協力課が振興会への連絡調整と提出書類の確認・修正を行った。
- ・情報工学部広報室、広報委員会が、実施者と共に、本事業のPRを行った。

○広報活動

- ・実施者(代表者・分担者)と広報室員が分担して、近隣の高校への訪問や7月に実施されたオープンキャンパスにおいて本事業のPRを行った。
- ・情報工学部の広報室と連携し、大学のHPや地元の新聞広告などによって本事業のPRを行い、募集の案内は実施代表者、実施分担者と広報室が作成した。
- ・情報工学部広報委員会と連携し、高校訪問、進学説明会、入試説明会の場で参加者募集の広報を行った。

○安全配慮

- ・受講生2人に1人のアドバイザを置き、安全確保の手助けを行った。
- ・受講生と実施協力者(大学院生)に短期のレクリエーション保険に加入した。その他の実施者については大学が加入している保険が適用される。

○今後の発展性、課題

- ・最近、ロボット的话题をTV、Webサイト等で目にするようだが、実際の研究と市販されているロボットの違いに驚きがあるようです。初めて知るといことは貴重な体験であり、大事にしてあげ、想像を働かせるような講義にしていきたいと考えます。

【実施分担者】

なし

【実施協力者】  6 名

【事務担当者】

福島 真里奈 研究協力課 研究協力係